

## 有限会社 藤原ファーム【いなべ市藤原町古田地区】

- 集落ぐるみでの農地維持管理と、6次産業化による餅加工の両輪で、**山間集落での営農を継続**
- 豊かな自然を生かした体験メニューで**地域のファンづくり**

### 取組地域の概要

古田地区は、岐阜県大垣市と接する県最北端の山間集落で、地域農業のほとんどが水田農業である。

「有限会社藤原ファーム」は集落内のほぼ全ての農地の集積を受け、水稻・もち米などを栽培して農地を守る。

また、自治会や農家などで構成する「ほうすけクラブ」がグリーンツーリズムや古田遊歩道の整備などに取り組んでいる。



草餅などを販売する直売所「草餅えぼし」

### 取組の背景

耕作放棄・後継者不足が課題となる中で、平成8年に集落全体の合意により、地域農業の担い手として、「有限会社 藤原ファーム」が設立された。

集落の農地を保全し、営農を継続するためには、生産だけでなく加工・販売による収益の向上が必要であると考え、平成12年に餅加工販売所「えぼし」をオープンさせた。

### 取組のポイント

#### ポイント1 共同で水路管理や草刈り作業を行い、藤原ファームの農地管理を側面支援

- ・農地は藤原ファームに集積していても、水路管理や草刈りなどの作業は集落の共同管理で支えており、集落が協力して農地を守っていきこうという機運が醸成されている。

#### ポイント2 6次産業化による草餅の加工・販売で収益を確保

- ・母親の手づくりの味を再現した草餅は、田舎のおふくろの味として人気を博し、餅加工販売所の経営を軌道に乗せることができた。
- ・現在では、かき餅や大福など、品目も増えているほか、通販や県外小売店など、販路拡大にも取り組み、餅の加工による収益が営農継続の柱となっている。



看板商品の「杵つき草餅」と「しそ衣」

#### ポイント3 自然体験で地域のファンづくり

- ・古田の自然と文化を生かし、田植え、稲刈、エコツアー、餅つき、そば打ちなど多様な体験メニューを用意しているほか、自然環境保全の取組として、遊歩道の整備も行っている。
- ・自然体験には県外からも参加があるほど人気で、地域のファンづくり、リピーター確保に寄与している。



田植え体験

### 今後の展望

さらなる販路拡大に向けて、賞味期限の長い商品の開発や、加工施設の新設を検討している。また、活動を広く伝えていくため、HP等での情報発信を充実させていきたい。

#### ◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県桑名事務所農政室地域農政課  
電話 0594-24-7421